

「第3回国際文化研究科ポスター発表会」

実行委員／愛知県立大学大学院国際文化研究科国際文化専攻博士後期課程

木戸志緒子

2020年12月1日(火)から12月22日(火)の3週間、本学大学院生から成る国際文化研究科ポスター発表会実行委員会主催、多文化共生研究所共催で「第3回国際文化研究科ポスター発表会」を開催した。3年目となる本発表会の趣旨は、分野を越えて討論や交流のできる場所を学内で創出し研究をさらに広い視点から捉え直すことである。

昨年は、県大祭の2日間にわたり、H棟の003で開催したため、広い展示スペースで観覧者との対話が自由にできた。のべ100人近くが会場を訪れ、一般の方からの質問もあり、教室での講義では得られない経験をすることができた。

しかし、本年は、新型コロナ禍において講義がオンラインになりさまざまなイベントが中止になるなど、学内外の院生たちが外出自粛をしている状況下での運営継続を検討する必要があった。その結果、昨年までのような対面での開催は困難と考え、感染対策に留意しながら学内展示とオンライン展示・発表を同時に開催することとした。

例年と同様に本発表会の前後に、国際文化特殊演習bクラス(以下、合同ゼミb)の4回の講義と連動させ、ポスターの作成、教員による指導、ピアラーニングによる振り返りなどを行った。また、初めて本校大学院OGや他大学の大学院生も参加し、12月6日(日)には、Zoomを利用して口頭発表を行った。発表者7人、教員5人、OG2人、一般1人、合計15人の参加があった。

以下はオンラインによる口頭発表をした7名の詳細である。

杜 建金(国際文化専攻 D1)

「近現代漢字圏における文字の変遷と

その実態に関する研究」

ルブリョーヴァ・ナターリヤ(国際文化専攻 M1)

「日露両言語のインターネットスラングについて

—ツイッターの投稿を中心に」

Y.K.(国際文化専攻 M2)

「外国ルーツエンジニアに必要とされる

『日本語力』の実態

—日本国内IT企業での状況分析」

木戸 志緒子(国際文化専攻 D2)

「日本人ホストマザーのホームステイ観の変容

—パーソナリティ構造の相互関係に着目して」

高田 祐磨(南山大学大学院 研修生)

「テオティワカン土器の分析と考察

—テオティワカン土器文化の変遷について」

岡崎 雅子(国際文化専攻 OG)

「絵文書から姿を消した鷲

—メキシコ征服500年に向けて」

多田 隼人

(名古屋大学大学院国際開発研究科 M1)

「小規模コーヒー生産者の経済的持続性に

関する研究」

学内展示では、感染対策が最も重要となった。新型コロナウイルス感染症対策室会議の承認を得て、スタッフの作業では、検温、手指の消毒、マスク着用を実施した。換気がよく十分スペースをとることができるH棟地下通路を会場とした。(写真1)

オンライン展示では、ホームページ作成ソフト JIMDO を利用し、タイトルを選択してポスターを閲覧しながら聞くことができる、発表者自身による音声紹介をつけた(写真 3)。セキュリティの面ではホームページのパスワード、ポスターのダウンロード禁止などの設定に配慮した。合同ゼミ b の振り返りでは、ポスターにシールを貼ってもらったり、投票アプリを利用したりして来場者数や関心を確認するとよいことなどのアドバイスを受けた。



写真 1. 学内展示会場風景 (2020 年 12 月 1 日実行委員撮影)

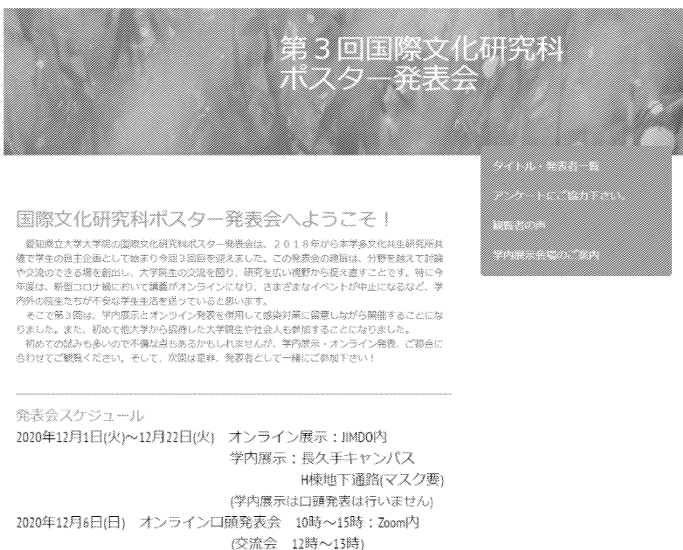


写真 2. オンライン観覧画面：表紙 (2020 年 12 月 18 日実行委員撮影)

観覧者の声

- ・ ポスターを少しずつ拝見しています。12 月 6 日の発表会の全日程に参加予定です。皆さん頑張ってください！(OG R.Y.さん)
- ・ 発表を興味深く聴かせていただきました。漢字の違いや「草」の意味、外国人を採用する難しさ、絵文字の解説や初めて知ったテオティワカン、何気なく飲んでるコーヒー豆の実情など多くの知識を得ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。(発表会一般参加者)
- ・ どの発表も、興味深い内容で、見入ったり聞き入ったりして、続きも聞いてみたくなりました。(国際文化研究科 OG M.N.さん)

オンライン発表 タイトル・発表者一覧

観覧にあたってのご注意

本発表会の観覧、録画、録音、ダウンロード等は一切禁止いたします。また、アクセス先、パスワードなどは申し込みをされた方のみに限定公開されていますので98番による監視も禁止します。

タイトルをクリックした後「スライドショー」、「最初から」をクリックしてご覧下さい。拡大して見たい方は「デスクトップアプリで開く」を利用してください。
※ただし、画面右下の98%の音量を45%程度にすることを推奨いたします。
音声の再生の音のついてはスピーカーマークで音質等を調節できます。

1. 国際文化研究科ポスター発表会へようこそ！
愛知立大学大学院国際文化研究科 博士前期1年 杜 禮金 (音声紹介は12月22日のみ)
【口頭発表12月8日(日)Zoom内】 10:20～11:40
2. 日韓両国並みの心算能力を誇る日本人の心算能力の謎を探る
愛知立大学大学院国際文化研究科 博士前期1年 ルブルーヴァナナリヤ
【口頭発表12月8日(日)Zoom内】 10:50～11:10 (音声紹介あり)
3. 国際化の推進と多文化共生社会の構築—日本独自の発展—日本型国際化の推進と発展
愛知立大学大学院国際文化研究科 博士前期2年 YK (音声紹介あり)
4. 日本人の「お茶」の文化と「お茶」の文化の発展—日本型国際化の推進と発展—
愛知立大学大学院国際文化研究科 博士後期2年 木戸 志緒子 (音声紹介あり)
5. 多文化共生社会の発展と多文化共生社会の構築—日本型国際化の推進と発展—
南山大学大学院 高田 祐磨 (音声紹介あり)
6. 私立大学から学ぶ「草」の文化—日本型国際化の推進と発展—
愛知立大学大学院国際文化研究科 同輪 雅子
【口頭発表12月8日(日)Zoom内】 14:00～14:20
7. 国際化推進と多文化共生社会の構築—日本型国際化の推進と発展—
名古屋大学大学院国際文化研究科 博士前期1年 多田 隼人 (音声紹介あり)

アンケートにご協力下さい。

観覧者の声

学内展示会場のご案内

写真 3. オンライン観覧画面：タイトル・発表者一覧

(2020 年 12 月 18 日実行委員撮影)

実行委員の感想

会場設営のとき、留学生が入試後初めて大学に来たと知り、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を改めて感じた。一方、オンラインでも運営することになったことで著作権を守るための方法やホームページ作成などを学ぶことができた。今後も運営面での改善を目指し、他の研究科や他大学院の学生にも参加を呼びかけ、さらなる研究交流へとつなげたい。

謝辞

本発表会の開催にご協力いただいた多文化共生研究所、新型コロナウイルス感染症対策室会議、学務課、「国際文化特殊演習 b」クラス、他大学からの参加者、OG の参加者、ご観覧者他、関係者の皆様に深く感謝致します。